

輝

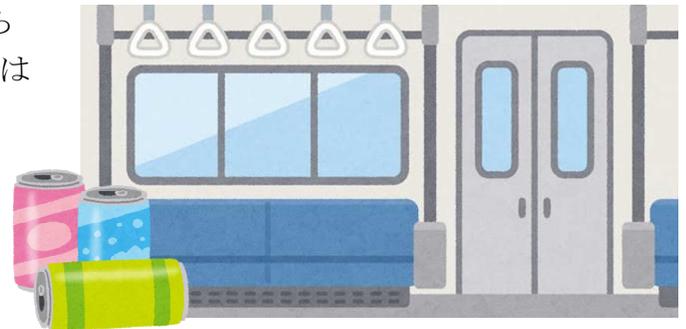
— かがやく —

令和3年6月29日（火） NO. 1

『カラカラカラ』

主人公の達也は、電車内に置きっぱなしにされていた誰かが飲んだジュースの空き缶が気になっていた。しかし、一緒にいた友人の言動を気にして何もできない。カラカラカラ……。電車の動きに合わせて転がる空き缶。次第に達也は、空き缶のことだけでなく、周りの人たちが自分を見ているような気がしてくる。そんな中、向かいの席にいた男性の足元に空き缶が転がった。男性はその空き缶を迷いなく拾い、目的地の駅のごみ箱に捨てる。

授業では、対照的な二人の姿から、“自分ならどう行動するか”や“自分で考えて行動するとはどういうことか”について考えを深めました。



～ みんなの学び ～

◇友達や周りの人の目を気にして、自分の思うことができなくて後悔するのは嫌だから、友達が〇〇って言ったから・・・友達がこうするって言ったからとかじゃなくて、自分はこう思うからと行動したいです。人に左右されない。

◇私は良いと思った事を実行したり、しなかったりです。実行できない事を勇気をだして実行してみたいです。自ら行動するとは、人の気持ちにつられないで、自分の思った事を誰かのためにする、という事だと思いました。少しでも実行したいです。できなくても良い事をしようという気持ちをしっかりともちたいです。

◇（広い目で見て）その行動をしてどうなるかというのを考えれば、それをして良いのか悪いのかというのが分かると思いました。そして、それを考えた上で“周りに流されず、自分の思ったこと”をすると良いと思いました。公共の施設に出かける時は、このことを考えて行動していきたいと思いました。

◇自分が正しいと思うことが、周りの人の視線や反応のせいでできないのはおかしいことで、自分は正しいと思うままに素直にできるような人になりたいと思いました。

◇公共の場で、周りの目がある中で、良いことをしようとするには勇気がいることで、そういうことをあきらめてしまうと罪悪感があるので、良いことをすることは難しいと思った。

◇私は買い物をしているときなどに商品が落ちていたりしたら必ず拾うようにしています。けど、空き缶などのゴミは多分拾うとは思うけど抵抗があると思います。でもこの男の人はあたりまえのように捨てていたので見習いたいと思いました。

◇周りの目を気にする時は、時と場合により、それをして他の人がいい気分になるのか？を考えてから行動しなければいけない。友達に良い子ぶるなどと言われても、しっかり自分の意見、意志をもつことが大切だと思った。

◇時と場合をしっかり考えて、公共の場だったら、周りの人に+(プラス)になることをすること、自分が“正しいこと”と思ったものは、周りに流されずに行動に移すこと、周りの目を気にしすぎず周りを見ることが、自ら考えて行動するということ。難しい!!!

◇友達とかに流されないで自分の意志で行動。良いことをする時は、あまり周りの目を気にしなくてもいいと思うけど、悪いことは周りの目を気にして行動しないといけないと思います。

◇人が物を落としてしまっていたら、素直に拾ってあげることが大切だと分かりました。これから学校でもものが落ちていたら持ち主に返してあげたり、すぐに拾ってあげて意識していきたいです。

◇自ら考えて行動するという事は、自分のやるべきだと思うことをやるということが大切であり、周りに流されないで実行しようとする気持ちが大切だということだと思いました。

～ 中学校の“道徳”とは ～

☆ 自己を見つめる時間

☆ 仲間と語り合い、より良い生き方を考える時間

☆ 豊かな心を育む時間

みなさんは“自分”をどんな人間だと思っていますか？ 長所は何ですか？ どこか改めたいことはありますか？ どんな人間になりたいですか？

このような事を考えるのは、難しいですね。でも、自分の心の奥に迫り、仲間とともに考えを深めていく中で、今まで気が付かなかったことが見えてきて、より良い方向へ変わりたいという感情が湧き出てきます。そうすることで、心がどんどん豊かになっていくのです。

根上中学校に入学したての頃、みなさんは大地に植えられた一粒の小さな種でした。1年生の時の色々な経験や失敗を通して、少しずつ根を伸ばしてきました。2年生では、さらなる経験を通して、伸びた根に栄養を送る時期です。色々な人の考え方や行動を知り、自己と対話し、より良く生きるために道徳の時間はあるのです。これからも道徳の時間で学んだことを、日常生活に生かしていきましょう。